

「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」  
領域開拓プログラム最終評価結果表

課題	A : 「認知科学的転回」とアイデンティティの変容
研究テーマ名	脳機能亢進の神経心理学によって推進する「共生」人文社会科学の開拓
研究代表者	小山 慎一
所属機関・部局・職	筑波大学・芸術系・教授
研究成果の総合評点 : A	
研究成果に係る所見	
<p>本研究は、敏感な人々が感じている「生きづらさ」を緩和し、敏感な感覚をもつ者とそうではない者との共生を目指す社会の構築をテーマにして、共生人文科学という学問を開拓していこうというものである。3つのPhaseに分けられた活動のうち、Phase1とPhase2は順調に展開され、十分な成果があげられている。Phase3については、コロナウィルスの感染拡大により羽田空港での実証実験が延期になっており、残念ではあるがいたしかたないと思われる。成果発表も意欲的にこなわれ、研究者ネットワークも広げられて、アウトリーチ活動にも積極的な取り組みが見られる。ただ、異分野間の連携や交流については、若干の不十分さが認められる。</p>	

※ 「研究成果の総合評点」に対する標語は下記のとおり。

- S. 研究目的に照らして、期待以上の成果があった
- A. 研究目的に照らして、期待どおりの成果があった
- B. 研究目的に照らして、期待どおりではないが一定の成果があった
- C. 研究目的に照らして、十分な成果があったとは言い難い